

はまごう小だより

あいさつ えがお
挨拶と笑顔でつながろう！

伊勢市立浜郷小学校

令和3年4月12日

発行者 平生 理恵

第2号

ご入学おめでとうございます！



4月8日(木)、ぽかぽかと暖かい春の日の午後、浜郷小学校の入学式を行いました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度も来賓の方々や在校生の姿のない入学式となりました。しかし、新6年生の児童は新入生のために一生懸命式場設営をし、1年生の教室も華やかに飾ってくれました。また、式場となった体育館の壁面は、在校生からの歓迎の気持ちが込められた掲示物で埋め尽くされていました。

開式時刻になると、ちょっぴり緊張した面持ちで、39名の新入生が入場してきました。39名のピカピカの新入生は、担任の先生の呼名に元気な声で応え、立派な浜郷小学校の1年生となりました。

私は、校長として、1年生の子どもたちと3つの約束をしました。



1つ目は、「命を大切にすること」です。けがや交通事故に気を付けることはもちろんですが、今、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行している中、マスクをつける・手洗いをするなど、自分にできることで自分の体を守ってください。

2つ目は、「友だちをたくさんつくること」です。お友だちをたくさんつって仲よく遊んだり、助け合ったりすることはとても大事なことです。自分がしてもらってうれしいと思うことを、お友だちにもしてあげましょう。そうすればお友達も自分に優しくしてくれるし、お友達も沢山できます。3つ目は「元気なあいさつとお返事をする事」です。あいさつは人と人をつなぐ架け橋になるものです。まずは朝起きた時、お家の人に元気に「おはよう」とあいさつしましょう。



この3つの約束を守って素晴らしい浜郷小学校の子になってください。

令和3年度 学校教育目標及び努力目標

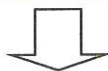
今年度の学校教育目標は『一人ひとりの豊かな感性と知力を培い、意欲的に生きる子どもの育成』とし、努力目標は次ページの通りです。

これらの目標を達成するために、保護者の皆様や地域の皆様と連携しながら、全職員が力を合わせて取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

令和3年度学校教育目標及び努力目標

◎学校教育目標

一人ひとりの豊かな感性と知力を培い
意欲的に生きる子どもの育成



◎めざす子ども像 めざす学校像 めざす教師像

めざす子ども像

- ・進んで学び、よく考え、ねばり強くやりぬく子
- ・自他の命を大切にする子
- ・いじめや差別を許さない子
- ・心身ともにたくましい子
- ・気持ち良く挨拶を交わせる子
- ・ふるさとを愛する子

めざす学校像

- ・いつも明るい声が聞こえる学校
- ・確かな学力を育てる学校
- ・一人ひとりの子どもが大切にされる学校
- ・子ども、保護者、地域に信頼される学校
- ・職員がやる気に満ち、働きやすい学校

めざす教師像

- ・人間性豊かな教師
- ・子どもの可能性を最大限に伸ばす教育実践に努める教師
- ・子どもの困り感から出発する教師
- ・授業力を高め合う教師
- ・自らの人権感覚を問う教師
- ・地域と連携する教師
- ・自分の働き方を意識できる教師

◎研究主題

互いの人権を尊重し合い、心豊かに生きる子どもを育てる
～対話的に学びあい、考えを深める授業づくり～

人権・同和教育
道徳教育

国際理解教育
多文化理解
英語活動

◎重点努力目標

1, 自ら進んで学習に向かう子どもを育てる

- ・基礎的基本的事項を明らかにし、確かな学力を育成する。
- ・個性・創造力を伸ばし、自ら学ぶ意欲や自己表現力を高める教育活動を推進し、自己教育力を育成する。
- ・ふるさとの文化と伝統を尊重するとともに国際理解教育を推進する。

2, 人権尊重の精神を培い、豊かな情操と正しい判断力や実践力を養う

- ・一人ひとりの自尊感情を高め、個々が生きる学級づくりをする。
- ・自他の人権を尊重し、あらゆる差別を認めない集団作りに努める。
- ・人権教育について研修を深め、教職員相互の共通理解を深めるとともに、指導を積極的に推進する。

3, 心身をきたえ、たくましく生き抜くための基礎を培う。

- ・心身の健康と体力の増進を図り、生涯を通じて健康で安全生活を送るための基礎を培う。
- ・生命尊重の精神を基礎とした、保健指導を進める。
- ・子どもの安全確保のための指導を充実する。

4, 職員の意欲的な教育活動の継続を図るため、安全・健康管理に努める。

- ・職員の健康の保持、増進を図り、意欲的に元気回復に努める。
- ・会議の効率化・短縮化を進める。
- ・一人あたりの月平均時間外労働時間・・・令和2年度比 10% 縮減を目指す。
- ・一人あたりの年間休暇取得日数・・・令和2年度比 1日/年 増加を目指す。